

香川大学教育学部附属特別支援学校へ 訪問・見学に行きました

11月12日、教育創造コースの2年生が、坂出市内にある香川大学教育学部附属特別支援学校を訪問しました。多田副校長先生から、学校の概要についてご説明いただいた後、小学部・中学部・高等部の各部主事先生の案内で授業参観をさせていただきました。



多田副校長先生から、特別支援学校だけにある授業や、特別支援学校の教育課程にない授業について教えていただきました。また、部活動や行事についてのお話もうかがいました。健常者と障がい者が共に生きていく共生社会を作るために、教育現場が重要だというお話が印象的でした。

小学部・中学部では、各教室での授業の様子を見学しました。高等部では「作業学習」ということで、農業、窯業、裁縫の作業の様子を見学しました。



～生徒の感想より～

特別支援学校の先生も将来の仕事の選択肢の1つになったので、これから詳しく調べていきたい。

特別支援学校を支えて日々努力している先生はとてもやりがいのある仕事だと思った。

生徒が安心安全に生活できるように様々な工夫がされていた。

全てやってあげるのではなく、どうしたらその子が自分の持っている力でそれをできるようになるかというのが考えられていた。

生徒一人ひとりに寄り添った、また教え方等を工夫している点が多く、学習やその他の生活面でもより成長できるような環境作りが徹底されていた。

本日は、貴重な体験の場を設けていただき、ありがとうございました。